

平成23年度「知財功労賞」を受賞

—当社独自のテクノロジーを盛り込んだ最先端のリチウムイオン二次電池 LSB(Laminated Sheet Battery)に関する研究開発が評価されました—

ENAX 株式会社

ENAX 株式会社（本社 東京都文京区 代表取締役社長 小澤和典）は、経済産業省特許庁より平成23年度産業財産権制度活用優良企業表彰におきまして、特許庁長官表彰（特許活用）を受賞いたしました。

■知財功労賞とは

特許庁では昭和62年から、毎年4月18日の「発明の日」に、工業所有権制度の普及促進と発展に貢献のあった個人及び企業に対し、「知財功労賞」の表彰を行っています。

「知財功労賞」は、「産業財産権制度関係功労者表彰」及び「産業財産権制度活用優良企業等表彰」を総称したもので、産業財産権制度の普及促進と適正な実施に貢献のあったものを表彰することで、産業財産権行政の円滑な遂行を図ることを目的としています。

■受賞のポイント

社会貢献を経営理念に掲げ、様々な顧客ニーズに応えるため、経営部門、研究開発部門、知財部門が緊密に連携し、CSR (Corporate Social Responsibility) の視点から、可能な限りのパテントクリアランスを果たすことで、安心と安全の商品を開発提供している。

内部経営資源と外部環境の緻密なSWOT分析を基に、リチウムイオン電池開発における重点注力領域を定め、集中的に関連知的財産を蓄積している。

ノウハウ秘匿の必要性と出願の公共性を見極め、自社開発技術の特許性を十分に評価した上で出願し、高い特許認定率を達成している。さらに、様々な有力国内外企業との技術提携を推し進め、外国メーカーとの資本提携や技術提携を通じて、海外市場における独自の販売チャネルを開拓するに至った。

<ご参考>

特許庁プレス発表 [“平成23年度「知財功労賞」の表彰について” \(2011年4月11日\)](#)

以上